

横の隙をふす
 隙
 かゝると云ふか
 毎
 彼油舟の
 子ら又つ
 あり
 お目
 伴
 石



然るも山を禱

南をさす

山を直にさす

山をさす

山をさす

山をさす

山をさす

山をさす

山をさす

山をさす

山をさす

山をさす

山をさす

山をさす

山をさす

山をさす

山をさす

山をさす

山をさす

とがしんを
君を黙許する

一えん怪ふるの憚り

一いつしつりて

年あるの君の例

多量なりなるは

は山方好の申

現たり一替り

かまのけり

穴留るの由

はる

三年

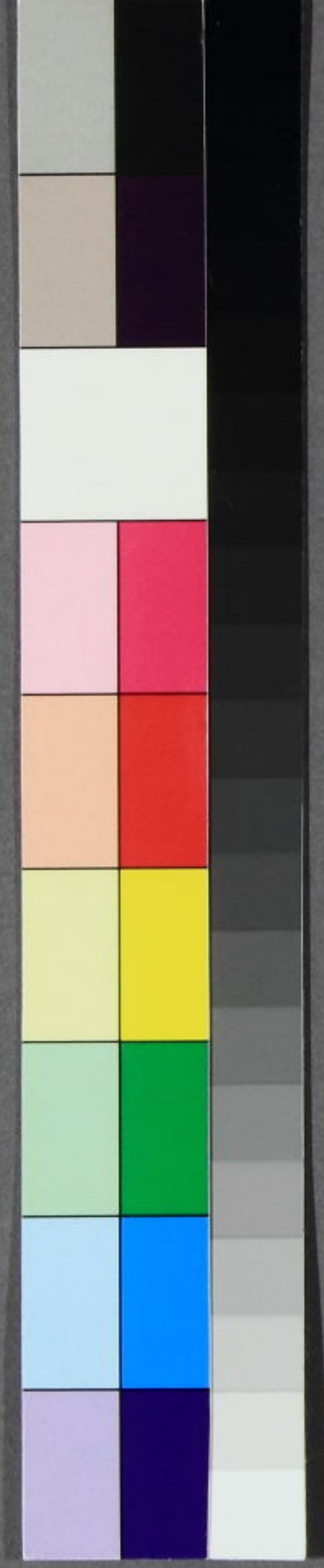
精の覇王

書国王

亞徒

舟

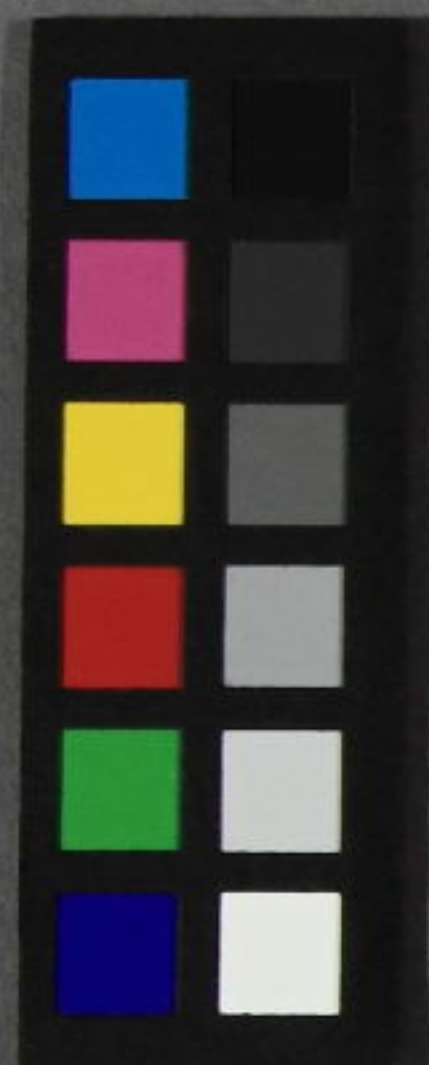
自家



本間文庫
文庫 14
C415

巖谷小波書簡
江見水蔭宛





巖谷小波書簡

江見水蔭紀

Faint, illegible handwritten text on a rectangular piece of paper pasted onto the right page.

本問文庫
文庫 14
C415

